



呉トピックス

野菜講習会



J A鹿川支店は3月23日、同支店で野菜講習会を行い20人が参加しました。生産者の田中正彦さんと江田島アグリセンターの渡辺一弘営農指導員、藤川真那営農指導員の3人を講師として土づくりについて、春夏野菜栽培についての講習を開催しました。併せて、希望者の畑から土を持って来ていただき、簡易pHテストも行いました。参加者は「毎年、同じ農薬を使用したら、耐性を持ってしまわないか?」「苗の植え付けをするのは何cmぐらいが適当なのか」と熱心に質問をしていました。



▲講習を受ける参加者

地区別組合員集会開催



J A呉地域は3月3日、J A江田島アグリセンターとビュー・ポークで地区別組合員集会を開きました。組合員の意志を反映するため、昨年度に引き続いての開催となりました。集会はJ Aが事業概要や情勢、取り組み状況などを説明し、参加した組合員からJ A運営や経営などの要望や質問、意見を受けました。



▲参加者に説明を行う佐伯隆弘専務

呉市広に新しい産直市オープン (ふれあい市呉店)



J Aは呉市広の広資材センターを改築し、4月4日に新しくふれあい市呉店としてオープンしました。12月に閉店となった呉グリーンセンターの産直市が生まれ変わり、年末年始以外は無休で地元の新鮮野菜・果物・柑橘・花卉、野菜や花の苗、管内特産品などを取り扱います。売場面積約125㎡の店内にはきゅうりやトマト、柑橘など多くの野菜が並びました。4月4日、5日は入場制限を行うほど多くの方にご来店いただきました。同店の久保田政博店長は「足元の悪い中、多くの方にご来店いただいた。これからも皆さんに喜んでいただける店づくりをしていきたい」と話しました。



▲開店前から長蛇の列

ふれあい市呉店の LINE公式アカウント

イベント情報などを発信します。
友だち登録をお願いします。



QRコードをスキャンすると
LINEの友だちに追加されます

QRコードをスキャンするには、
LINEアプリのコードリーダーを
ご利用ください。



▲多くの方で賑わう店内

なるほどえ~のう! 営農情報

落葉果樹

いちじく



●芽かき
新芽が伸長してくと繁茂状態となり、品質が低下するので、受光量確保と結果枝(実のついている枝)の勢いを揃えて品質向上をはかる目的で、結果枝の本数を整理します。

●樹勢の弱い樹ほど、早めに実施し、樹勢の強い樹では、遅めに2〜3回に分けて実施します。

●残す芽数は、1mあたり適度な間隔で5〜6本配置します。(隣の芽との間隔は40cm程度)

なお、背面枝(枝の背から発生している芽)や、下垂枝、重なり枝、徒長枝(真上に向け伸びた勢いの強い枝)は積極的に芽かきを行ってください。ただし周囲の枝が少なく、太枝などが日焼けを起こす可能性がある場合は、誘引や捻枝(枝をねじる)を行い、芽数を確保します。

●かん水
発芽期は7日おきにたっぷり(15〜20mmを目安)行います。

●カミキリムシ対策
5月の下旬頃はカミキリムシの発生が考えられます。対策として「ガツトサイドS」の原液又は1:5倍に薄めて主幹部に塗布してください。

●また、カミキリムシの食入穴(木くずの様なもの)が穴から出ていたら「重要」を見つけたら「園芸用キンチョールE」を注入します。

●カキ
大きな果実を生産するには細胞分裂時期に貯蔵養分を蓄え、果実内の細胞数を多くすることが大切なことから、摘蕾は重要な作業となります。



摘蕾は開花の5〜15日前が適期となります。

●摘果
残す蕾は①結果枝(実がなる枝)の中央付近、②ヘタが大きく四方の形がそろっているもの③横向き・下向き、④肥大したときに周囲の枝に接触しない部位です。

●モモ
カキは一斉に開花せず順次開花するため、一度摘蕾を終えた樹でも、遅れて開花した花や見落としが無いが再度確認しましょう。



●摘果
満開40日後(5月上旬〜中旬)頃から開始します。可能な限り満開50日後頃(硬核期)までには終了するように行います。

●摘果は生理落果の発生しにくい品種から優先して行います。硬核期に強い摘果を行うと生理落果や果実肥大による核割れ(低糖な果実)を助長するため注意しましょう。



●スモモ
●摘果
満開後50〜60日(5月中旬〜下旬)頃から仕上げ摘果を行います。



MEMO
落葉果樹は、開花期を迎えるものや、果実肥大が始まるなど品目により生育状況が異なります。この時期は、前年秋に枝や幹などに貯蔵した養分を使う成長から、今春に発生した葉で光合成した養分による成長へ転換していきます。短期間で、一気に変化していきますので、生育に合わせた作業を行います。

早生種や樹勢の弱い樹は早めに行い、サンタローザなど生理落果の多い品種は着果が確認できてから行いましょう。

●葉果比は1果あたり20枚ほどが目安です。

家庭菜園

5月は気温も上がり、植ええられる野菜も増え、野菜の生育に適した時期です。夏野菜の植え付けが本格化し、春に種まきした野菜も成長をみせます。5月に野菜を栽培する際は、気温の上昇と乾燥、雑草、害虫、水やりなどに注意し、苗の植え付けをしましょう。

5月に植え付けられる野菜は、ナス科野菜(トマト、ピーマン、ナス、唐辛子など)、ウリ科野菜(キュウリ、ゴーヤ、ズッキーニ、カボチャ、スイカなど)、トウモロコシ、サツマイモ、オクラ、サトイモなどたくさんあります。今回は、ズッキーニの栽培について紹介します。

■ズッキーニ(ウリ科)

●土づくり・基肥

堆肥は定植の1か月前、石灰は2〜3週間前、基肥は1週間前を目安に施し早めに畑の準備をしておきましょう。(量の目安 1㎡あたり、堆肥:2kg、石灰:100g、肥料:120g)畝は、幅60〜70cm、高さ10cmほどが目安です。

●定植

定植時期の目安は晩霜の心配がなく、最低気温10℃以上がよいでしょう。8℃以下の低温は生育不良や生理障害の原因となるので、過度な早

植えは避けましょう。ズッキーニは、株間を80〜100cmとりましょう。

●管理

*摘果

最初の雌花2花は開花前に摘果して初期の草勢を強くします。形の悪い果実も早めに摘果します。

*支柱

ズッキーニの苗の周りに数本の支柱を立てて、支柱をひもで囲い、ひもに葉をひっかけて固定するという方法もあります。プランターでの栽培でも可能です。

*人工授粉

人工授粉が必須で、雌花が咲いたら雄花を探して受粉させてください。雄花の花びらを取り、花粉を雌花の中心の柱頭に付けます。受粉させたいときに、雄花がないということを防ぐために、3〜4株同時に栽培することがおすすめです。雌花、雌花ともに雨などで濡れていないときを狙って行ってください。高温期には、朝7時頃までに行いましょう。

*追肥

収穫開始後から10日おきに、株元から約10〜15cm離れたところに一握りの量の肥料をバラバラとまいて土となじませてください。

●収穫

果実が20cmごろになったころ開花後7〜10日後(ころ)、はさみで収穫します。

未授精で果実が大きくならないものや先細りの果実は、放置しておくとう腐症状の原因となり収量が減る

ため早めに摘果しましょう。

●よく発生する病気

・うどんこ病

葉の表面にうどん粉をかけたように白くなります。糸状菌による病気で、低温で乾燥した時期に多く、反対に梅雨や真夏には発生しづらいです。対策として、乾燥が続く場合は水やりをして、適度な湿度を保つこと、黄色くなった下葉などをかいて風通しをよくしておきます。

●野菜の好みにあわせて植えよう

作物には生育に適する環境がそれぞれあり、土壌の乾湿、酸性度、日当たりによって適する野菜は異なります。たとえば、同じナス科でもナスは水分を好みますが、トマトは少し

乾湿の相性

多湿を好む	レンコン、クワイ、セリなど
多湿でも育つ	ミツバ、サトイモ、フキ、セロリ、タマネギ、ナスなど
多湿に弱く乾燥地で育つ	ジャガイモ、サツマイモ、ゴボウ、ダイコン、ネギ類、カボチャ、ウリ、ハウレンソウなど

日当たりの相性

日当たり好き	ウリ類、豆類、サツマイモ、ニガウリ、イチゴ、スイカ、メロン、トマト、ナス、タマネギ、キャベツ、結球ハクサイ、根菜類、トウモロコシなど
半日陰でも育つ	サトイモ、ネギ、アスパラガス、ワケギ、ハウレンソウ、小カブ、インゲンマメ、パセリ、セロリ、レタス、葉ネギ、ニラ、ミョウガ、ミツバ、フキ、ショウガなど

連作障害を特に起こしやすい野菜

科目	野菜例	輪作年限
ナス科	トマト・ナス・ピーマン・ジャガイモなど	3〜4年
ウリ科	キュウリ・ゴーヤ・カボチャなど	2〜3年
マメ科	ラッカセイ・インゲン・ソラメなど	2〜3年
アブラナ科	キャベツ・カブ・ダイコン・ハクサイなど	1〜2年
サトイモ科	サトイモ	3〜4年

参考資料：マイナビ農業「家庭菜園こそ注意！連作障害の予防と対策【畑は小さな大自然vol.17】」

乾燥ぎみくらいの方が甘いトマトになります。これらの性質で似ている野菜を近くに植えることで、楽に管理できて失敗も減ります。

★ポイント★ 連作障害に注意

同じ科の野菜を同じ場所で栽培し続けると、土中の栄養バランスが崩れ、その野菜を好む病害虫や菌が増殖し、その科特有の病気(連作障害)を起こします。連作障害を防ぐには農薬のほかに、なるべく同じ野菜を連続して同じ場所に植えないようにします。そして、堆肥や腐葉土を投入した土づくりを年に1回は行うことで保肥力のアップ、微生物の増殖を促し、肥料分の供給のコントロールができる土壌にしておくことが大切です。

ときめき 女性部通信

防犯講習会 女性部大古支部

J A女性部大古支部は3月19日、大古支店で防犯講習会を開きました。減らない特殊詐欺の対策として、江田島警察署より講師を招き「特殊詐欺の現状と対策について」と題した講義を行い、44人もの参加者を集めました。同支部の重松支部長は「特殊詐欺はどんどん巧妙になっている。私だけとは思わず皆で防犯に気を付けたい」と話しました。



熱心に講習を聴く参加者▶

広北感謝祭に参加



J A女性部呉地区本部広支部広北グループは3月21日、J A広西支店がJ A呉アグリセンターで開催した広北ふれあい感謝祭に参加しました。女性部として、炊き込みご飯の販売やバザー、豚汁の無料配布を行い、支店職員はフランクフルトや野菜、農機具の販売、ボールすくい等を行いました。混雑時には休憩所の椅子が足らなくなるくらい多くの方にご来場いただきました。同支部の前田支部長は「J Aの広北支店はなくなってしまいましたが、女性部で広北地区を盛り上げていきたい」と話しました。

◀ J A女性部による豚汁の無料配布

定年退職 おめでとうございます

3月31日、JA本店にて令和7年度定年退職辞令交付式が執り行われました。呉地域で定年退職された方々は以下のとおりです。（敬称略）

呉地域営農経済センター購買課
課長 岩田 晋治

呉アグリセンター
センター長 前寺 邦彦

呉地域営農経済センター営農販売課
課長代理 後口 浩介

倉橋支店
係長 高畑 ルミ

